

認知症サポーターキャラバン



厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくっていくことを目指しています。

病気として理解する

脳は、私たちの活動をコントロールしている司令塔です。脳がうまくはたらかないと、精神や身体の活動もスムーズに運ばなくなります。認知症とは、脳の細胞が死んだり、働きが悪くなったりして障害がおこり、生活に支障が出ている状態をいいます。認知症は、だれでもなる可能性がある病気です。



認知症の人の杖になる

「認知症の人は何もわからない」は間違いです。認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が、認知症の人を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でやることも増え、おだやかに暮らしていくことができます。偏見という心のバリアをなくし、1人でも多くの「人間杖」を増やしていくことが重要です。

明日のわたしのためだから…… 認知症サポーターになってください

認知症サポーターとは

なにか特別なことをする人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者として、自分のできる範囲で活動します。自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。

認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講した人が「認知症サポーター」となり、「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の[オレンジリング]が渡されます。

- 「サポーター養成講座」は市町村が在住(もしくは在勤、在学)している市民を対象に実施しています。



認知症サポーター養成講座問い合わせ先

全国キャラバン・メイト連絡協議会

事務局 地域ケア政策ネットワーク
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-7-15
近代科学社ビル4F

TEL : 03-3266-0551 FAX : 03-3266-1670

勝浦町地域包括支援センター
勝浦町大字棚野字竹国10番1
電話 0885(42)3700